

# 女川町 支援活動レポート

2011.12.16 ~ 2011.12.18

(宮城県牡鹿郡女川町 各所にて)



頑張ろう日本！ 頑張ろう東北！



平成23年12月23日(金)  
東北被災地応援団 白金支部  
工藤 史大

## 女川町 支援活動レポート

このたびの東日本大震災により亡くなられた方のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に対し心からお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

### 1. はじめに

今回の女川町支援活動は、「今も真っ暗な女川町を希望の灯で包みたい・・・」との思いでREALeYEさんとコンテナ村商店街さんが中心となり企画された、イルミネーションのイベント「灯～TOMOSHIBI」への出店。及び年明け1月21日(土)に計画している「餅つき大会&ミニLIVE」の下見、3月植樹予定の「桜プロジェクト」の打合わせのため訪問した。

### 2. 現在の女川町について

震災より約10ヶ月、日中も寒く気温は-5～6度。町の中心部に建物がない為、海風が強く吹き荒れている。3.11の東日本大震災までは、約10,000人いた住民も、震災で死亡・行方不明者が約1,000人。その後町を離れた方々も多く、現在は約5,000人の方が居住。そのうち6割は仮設住宅での生活を余技なくされている。主産業の漁業も2割程度が復活した程度で、瓦礫が撤去され土台だけとなった町並。町の中心部から場所を移し、営業を再開する店舗も出てきたが、復興計画の関係で未だ町の中心部に建物はない。



荷物満載で女川を目指します



仮眠場所の菅生PAは積雪



三陸道からの雪景色



女川街道から見る女川湾

### 3. 活動報告

今回現地入りしたのは6名です。車2台に荷物満載での再訪となりました。訪問したイベント会場は、宮城県牡鹿郡女川町の鷺神浜にありますコンテナ村商店街です。お昼から夜8時までの長丁場。屋外での活動が続くため体力勝負となりました。今まで行ってきた避難所や仮設住宅での支援活動とは違い、初めて行うイベントでの出店にメンバーの気持ちも盛り上がっていました。私達以外にも、絆Japanさん、JAPAN HOPEさん、鎌倉ランズさん、浄土宗 心教山藤渡院 専興寺さん@STEM.kさんなどが、REALeYEさんの呼びかけでお手伝いに来ていました。

以下、活動内容について報告します。

#### (1) 準備期間

A. 準備期間：2011/11/27～2011/12/16

#### B. イベント(出店)

- ・陽子の激旨ミニアメリカンドッグ 400食分
- ・コーンスープ 200食分
- ・生ビール 180杯分
- ・スーパーボールすくい

#### (2) 活動レポート

以下、活動内容は、近藤リーダーの報告によります。

2011年12月16日(金)

朝から、後方支援の方々による、食材の仕込みが着々と行われていた。

22時30分

車2台に分乗し白金高輪を出発。”ホルモン焼き 夏冬”にて生ビールの樽、サーバーをピックアップし、芝公園入り口よりいざ女川町へ。道中、降雪の影響もあり菅生パーキング到着は3:00。3時間弱の仮眠をとり6:00に出発。外気温はマイナス4℃、ホントに寒い。

5時50分

起床して洗面をしに車外に出ると、銀世界が広がっていた。  
3週間前に来た時とは明らかに景色が違う。

現地到着後、まずは女川町内の視察。  
コンテナ村の近くの学校の敷地にて銀行、郵便局等が営業を計画しており、仮設店舗の設置の準備が進んでいた。  
その後、総合運動場へ移動し、桜の植樹プロジェクトの現地下見、及び来年1月21日に計画している餅つき大会の打ち合わせを行った。現場を見ることで具体的なイメージが出来た。餅つき大会、楽しみだ。

昼食後、コンテナ村へ移動。早速、出店の準備を開始。  
今回は、生ビール、ミニアメリカンドック、コーンスープの3品とスーパーボール掬いを用意した。  
使用する食材は、事前にコンテナ村商店街のマルカネ商店さんより購入支援。ありがとうございました。  
子供を対象に、勝ったらおもちゃが貰えるじゃんけんゲームも企画。子供達、喜んでくれるかな？  
こんなに寒くて生ビール売れるの？と不安を抱えながら。

14時00分 イベントスタート

最初は人もまばらであったが、スーパーボール掬い、じゃんけんゲーム付コーンスープ、ミニアメリカンドックは子供達に大人気。気温一桁の寒さもお構い無しに水の中に手を突っ込んで笑っている子供達。  
子供の笑顔はやっぱり良いものだ。  
時間の経過と共に人々も集まり、心配していた生ビールも順調に売れて行く。ほろ酔いのオジサン、オバサンの笑顔も良い。  
みんな楽しんでくれている。



コンテナ村商店街入口の壁画



慈恵の看護婦さんが描いたイラスト☆



店舗の準備完了。子供達来るかな。

日も傾き、薄暮の16:30、カウントダウンがスタート。5, 4, 3, 2, 1、クリスマスツリー、リース、店舗のイルミネーションが一斉に点灯、感動的な光景が目の前に広がる中、みんなの拍手と笑顔がとても印象に残った。  
日が暮れてぐんぐん下がる気温と反比例するように、人々のテンションは急上昇？生ビールの売り上げは右肩上がり伸びていった。  
老若男女、皆、とても楽しそうでこのイベントに参加することが出来て本当に良かったと感じた。  
今後の支援活動においてもイベント性の強い、現地の方も一緒に参加し楽しめる形ものが求められていると思った。



REALeYE 高橋さんより挨拶



早速、たくさんの子供達が！



イルミネーション灯火～



イルミネーションに彩られた店舗



出店もイルミネーションでデコレーション



このトンネルを通ると商店街に

以上、簡単ではありますが活動レポートとさせていただきます。

#### 4. 今後の予定

(1) 1月21日(土) 女川町総合運動場内 総合体育館にて「大餅つき大会」「ミニLIVE」「子供向けレクリエーション」

2012年 年初の支援活動は、11月まで避難所として使用されていましたが「総合体育館」前で、「大餅つき大会+ミニLIVE♪」を予定。10月の東日本大震災チャリティーコンサートにご出演いただきました方々と一緒に、女川へ素敵な演奏と笑顔をお届けします。寒い冬の女川町ですが、町民の方々に温まっていたいただける活動ができればと思います。

(2) 3月10日(土) 「桜プロジェクト」

昨年の夏より女川町役場の方、日本桜の里の里長さん、阿部造園さんのご協力のもと、総合運動場内に桜の苗木を植樹します。こちらは弊会のメンバー 小澤が中心となり、この先何年も春の時に花見をしていただけたらとの思いで計画中です。もともと町の花が「桜」の女川町。3.11震災で津波の被害にあった桜も多く、高台に新たに「大島桜」「河津桜」を植えます。

#### 6. 補足事項

(1) 参加者(敬称略/順不同)

工藤 史大	近藤 尚之	石垣 健	小澤 徹
飯星 広徳	飯星 美樹		

(2) 後方支援者(敬称略/順不同)

川端 陽子	小澤 雅志	藤川 芳江	若本 智子
石川 重美	仙頭 淳子		

(3) 支援物資提供(敬称略/順不同)

ホルモン焼き夏冬

(4) 行政支援

港区防災課 様 「災害派遣等従事車両証明書」の発行

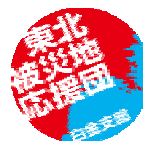
(5) 現地受け入れ先

宮城県女川町災害復興支援センター(旧:災害ボランティアセンター) 様

(6) 現地協力団体

REALeYE (高橋 圭介 様、高橋 一枝 様)

皆様からのあたたかいご支援・ご協力のういで成り立っております。 本当にありがとうございました。 継続して被災地への支援活動をしていきますので、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



平成23年12月23日  
東北被災地応援団 白金支部  
工藤 史大

★東北被災地応援団 白金支部 WEBサイト★

<http://www.onagawa.e-ouen.jp>

※このレポート内にあります画像の流用及び転用は、一切禁止します。

Copyright (C) 2011 Tohokuhisaichi-Ouendan All Rights Reserved.